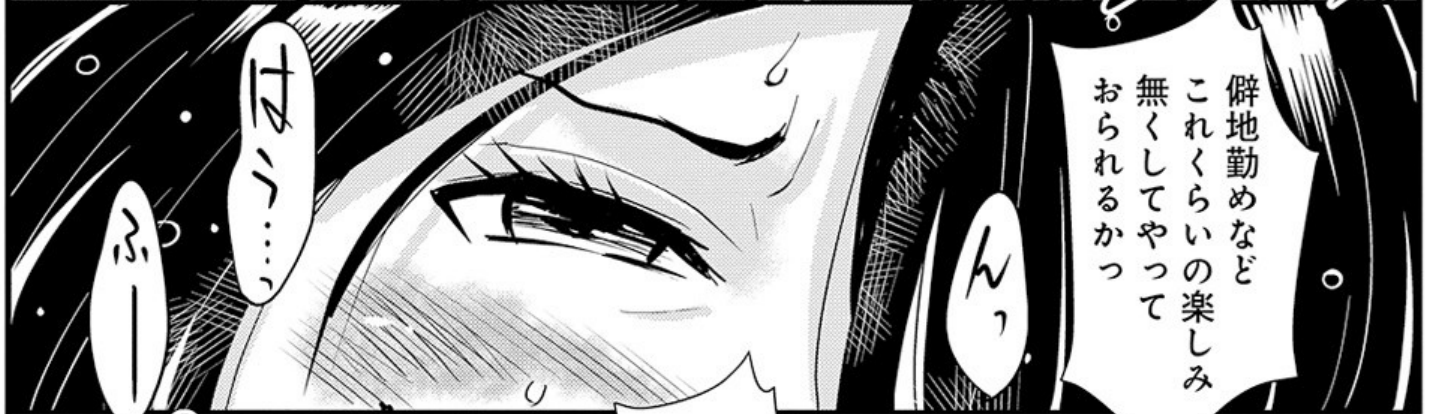






なにが  
重要な職務かつ



僻地勤めなど  
これくらいのも楽しみ  
無くしてやって  
おられるかつ



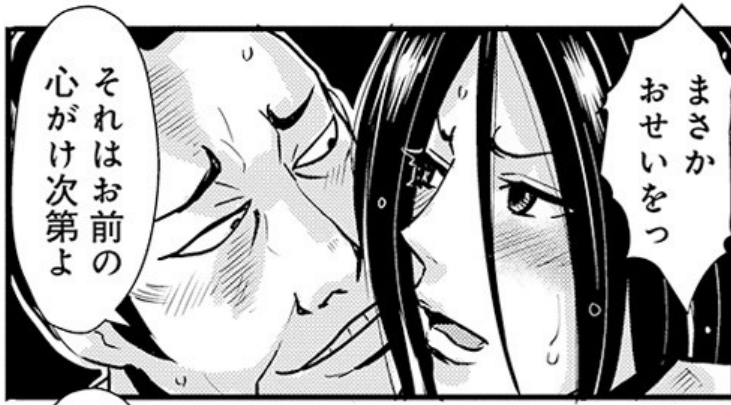
与力藤倉なぞに  
いつまでも  
良い顔はさせぬわ



間者の件  
謀ってでも  
処置してくれるっ







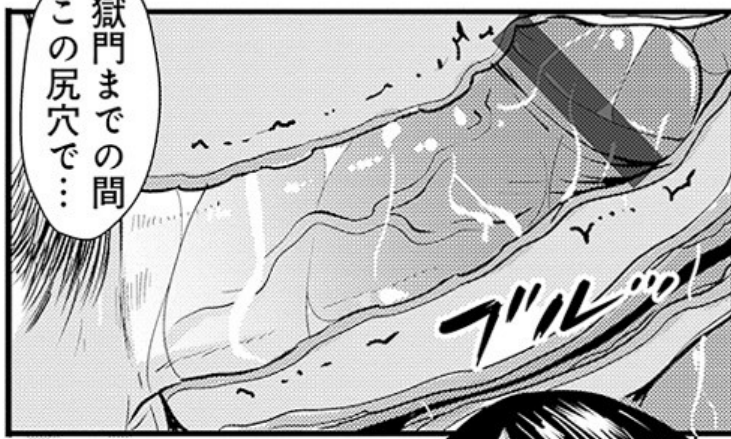
それはお前の  
心がけ次第よ

まさか  
おせいをつ



ウヒヒ

お前の子なら  
あの娘も具合が  
よさそうじゃな



獄門までの間  
この尻穴で：



やめろおつ

楽しませるのだなっ





あーいー

ふん…  
お役目か

あつ燗と肴付

間者の  
詮議だとか



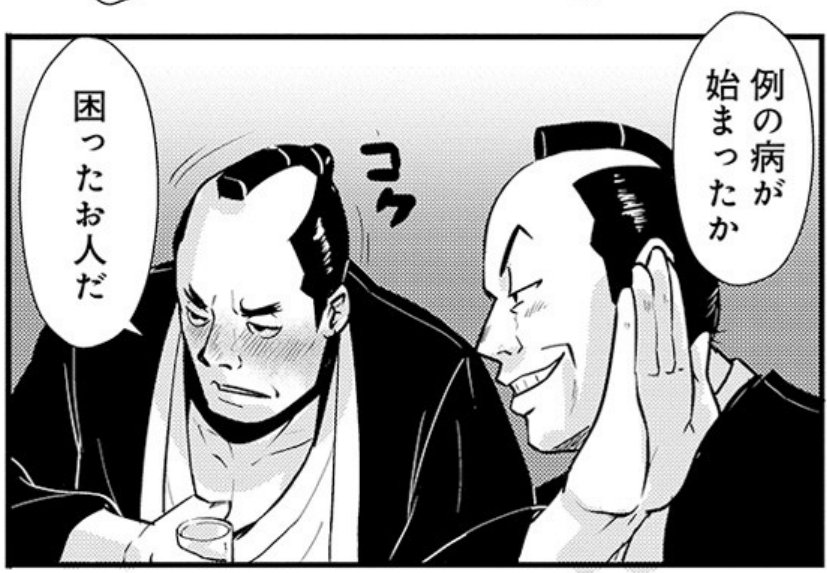
なんだ左門  
お主お役目では  
なかったか?



まだ詮議の  
段階だ下主人  
ではない…

なのに  
あのような  
辱めまで…

聞いたぞ  
下主人は大層な  
べっぴんなのだろ



例の病が  
始まったか

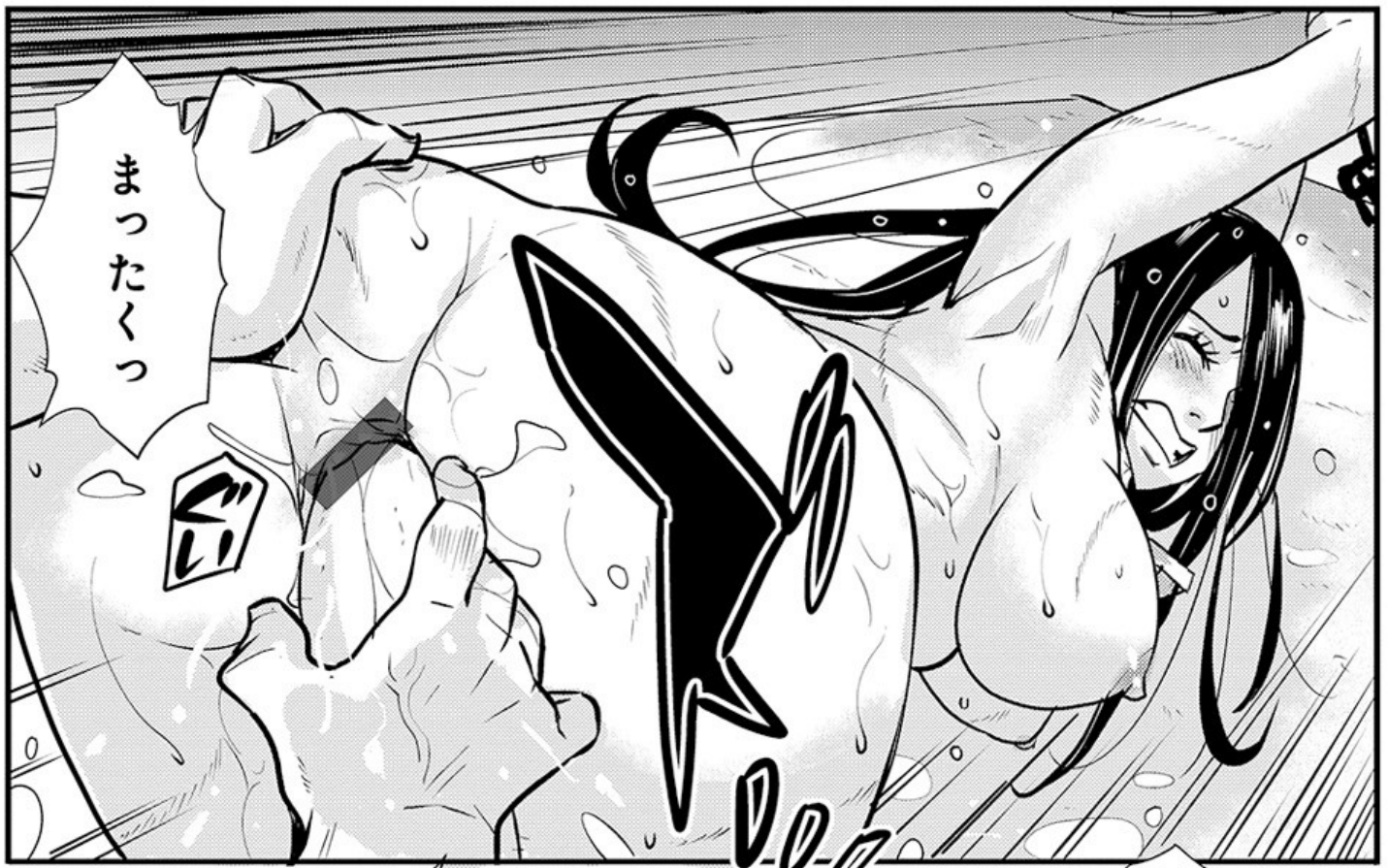
困ったお人だ



ははくん  
田之中様か

うむ…





まったくっ



ええいつ  
抗うでないっ

うだつが  
上からぬも道理よ

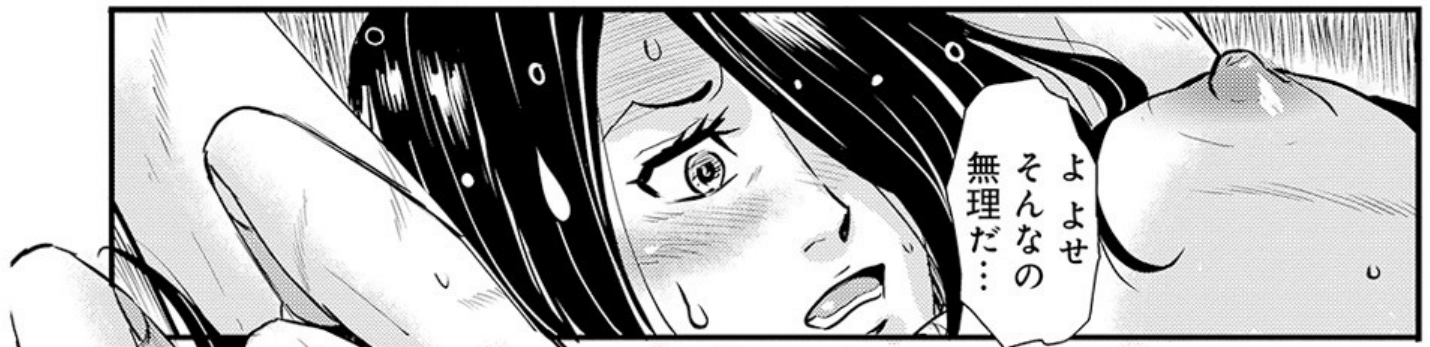


左門の阿呆ウめ  
せつかく尻を  
譲ってやった  
というに

上役への感謝も  
ないとは









江戸勤めとはいえ  
人をましてや幼子の  
おるおなごを  
玩具のように扱うなど



偉そうなこと  
言っても  
お主もその女  
抱いたのであろう



いやっ  
役目などではない  
子供が虫をいたぶるが  
ごとのくの所業だっ



真面目に  
考えるな

我ら木っ端役人  
なぞ上役の命に  
従いつつうま味を  
享受すればよい

そんなだから  
女房に逃げ  
られるのだ









腸を洗い流して  
やるにな



仕上げはこれよ

こいつは  
拙者の宝物でな  
渡来人より  
せしめた物よ



どれほど  
入るか楽しみじゃ



その腹  
ヒキガエルの  
様じゃぞ

おおおお



驚いたな  
二升すべて  
飲み込みよるとは



さあ、後は  
思い切りひり出せ



無様な醜態を  
見せてみる





わはは見事に  
はじけたのお  
よいぞよいぞお







つづく...